

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 数学 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにするための工夫・配慮の程度はどうか。 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
2	「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育局教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。 「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。 「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3	内 容	(1) 内容の選択 人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成するための内容の充実についての適切さはどうか。 (2) 内容の程度 基礎的・基本的な知識及び技能を習得するための工夫・配慮の程度はどうか。また、数学と実社会を関連付けられるような記述や教材の充実についての適切さはどうか。 (3) 内容の構成 導入・説明文・例題・問題等の配列や関連付けの適切さはどうか。また、補充的な学習や発展的な学習の内容について、配列や分量の適切さはどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	単元や章の展開・項目・資料等の工夫の程度はどうか。また、本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等の関連の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

観点	発行者	東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版	
		特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴		
1	学習指導要領との関連	○ きめ細かな単位で理解を確認する「クイックチェック」で、生徒が必ず身に付けた問題を取り上げ、自身でつまずきを早期発見できるように工夫して編集されている。	必要に応じて「思い込そう」を配置して学習内容を振り返りながら、豊富な問題で、練習、確かめ、振り返りができるように編集されている。	学習過程のイメージを具体化し、問題発見から解決までの過程が見えるようにして、生徒自らが率先して学びに取り組めるよう編集されている。	課題が見られるつまずきが多い内容の誤りを正しく直す問題や「もどって確認」を設け、自ら技能を身に付けられるよう編集されている。				
		○ 最初の章の「学び方のページ」で、問題解決の過程を示し、思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫して編集されている。	問題発見・問題解決の流れを示し、その流れを意識しながら取り組むことで、見出した問題の解決の仕方が身に付くように編集されている。	問題発見したものを考察したり、性質を見い出したりして、統合的・発展的に問題解決したり、多様な考えを説明し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力が育成されるよう編集されている。	「？」から「！」を見い出し、さらに「！？」へつながる「問い」を大切に構成で、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。				
		○ 節ごとの「学びを振り返る」や章ごとの「ふり振り返りレポート」で自らの学びを振り返り、学びの変容に気付くことで、数学の楽しさやよさが感じられるよう編集されている。	学習の区切りや章末に学んだことを評価の観点を具体的に示して振り返るように促す質問を設け、学んだことよさに気付いたり、考える楽しさを実感できたりするよう編集されている。	「できるようになったこと」で、できるようになったかを自分で判断できるようにしたり、「さらに学んでみたいこと」で、その先への意欲をもたせるようにしたりして、問題解決の過程を振り返って評価・改善できるよう編集されている。	「章とびら」の内容と章の学習内容を関連づけ、「数学の広場」や「数学しごと人」へとつなげていくことで、数学の有用性を実感したり、学習による自己の成長を感じたりできるよう編集されている。				
2	「コンパスばらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	○ 各設問では、「かならず解けるようになりたい問題」に印がついていたり、巻末の補充の問題に加えて、デジタルコンテンツでフラッシュカードによる問題演習が用意されていたりなど、個々の理解度に合わせて取り組めるようになっている、自分のペースで学び直しができるよう工夫されている。	各設問に合わせて、小学校の内容の振り返りがこまめに記述されていたり、「プラス・ワン」として解き終えた生徒向けの補充問題が用意されていたりするなど、個に応じた対応がされている。	デジタルコンテンツ「チャレンジ」で補充問題に取り組むことができたり、「パトロール帳」で解き方の丁寧な解説を見ることができたりするなど、個に応じた学習に対する工夫がある。巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」で、学びの進め方を丁寧に示してあるが、個に応じた学び方が吟味する必要がある。	「もどって確認」では巻末の「学びのマップ」で、算数からのつながりが確認でき、自分のペースで学び直しができるようになっている。「力をのばそう」でのデジタルコンテンツ「サポート」については、ヒントとなることながら単に記載されているだけで、あまり実用的でない。				
		○ 各単元の導入や利用で対話を促す指示があり、どのタイミングで対話的な学びを取り入れればよいかわかりやすくなっている。また、デジタルコンテンツに「対話シート」があり、対話の場面で、それを用いて自然と対話へとつながるように工夫されている。	章末の利用の設問が、巻頭にある「問題発見・問題解決の流れ」と合わせて示してあり、考えを伝え合う場面が設定されている。また、「判断しよう」と「伝えよう」の設問で、対話を促すような工夫が見られるが、設問数は少ない。	ほとんどの「Question」の設問で、登場キャラクターによる会話が記載されており、対話のきっかけとなる問いが示されていたり「見方・考え方」が併記されていたりして、同じ着眼点で話し合いを円滑に進めることができるように工夫されている。	主に各単元の利用の設問で、どの段階で何をすればよいかが「学びのプロセス」として併記されているため、自分の考えをもった上で、話し合うタイミングが図がされていて、対話的な学びが生まれやすい。				
		○ 各内容に合わせたコラム的な「数学のまど」や巻末の「数学の自由研究」で、各単元の内容を日常生活で活用できる場面が紹介されている。また、自ら進んで取り組む問題には「それなら」と示してあり、発展的に考えることができる工夫がなされている。	各単元末に「活用・探究」のページがあり、学習内容に合わせて自ら課題を設定して取り組むようにするなど、自分の興味に合わせて学びを進めることができるように工夫されている。	「Tea Break」として、数学の内容に関する豆知識が随所に散りばめられている。また、各章末には「活用」の問題と「深めよう」のページで日常の事象とのつながりについても触れられており、生徒の興味・関心を引き出しやすくなっている。	「学んだことを活用しよう」や「数学の広場」のページが多く、学習内容が日常のどのような場面で用いられているのかが、豊富に取り上げられている。				
(1) 内容の選択	○ 同じキャラクターがページによって異なる役割を身に付けていたり、様々な人々が過ごしやすい社会となるような取組を題材としたりするなど、人権に配慮した編集がなされている。	○ 外国にルーツをもつ生徒を複数含めた多くの登場キャラクターや、オリビュンやパラリンピックを題材とした問題設定など、多様性を意識した構成になっている。	○ 「問題発見・問題解決の流れ」を示し、意識して取り組ませることで、見出した問題の解決の仕方が他の問題の解決に役立つような数学的に考える資質・能力の育成ができるよう編集されている。	○ 「Q」の側注に「見方・考え方」を示し、問題解決に向けての見通しを立てることによって、筋道を立てて数学的に考える資質・能力の育成ができるよう編集されている。	○ イラストでは、性別を問わず協力して取り組む様子が描かれていたり、周囲の気持ちについて考えながら活動に取り組む様子に触れていたりと、人権に対する配慮がなされている。				
	○ 「深い学びのページ」では、問題発見・問題解決の過程を意図した活動を通して、問題解決で働かせた見方・考え方を「大切にしたい見方・考え方」で振り返り、数学的に考える資質・能力の育成ができるよう編集されている。	問題発見・問題解決の流れを示し、意識して取り組ませることで、見出した問題の解決の仕方が他の問題の解決に役立つような数学的に考える資質・能力の育成ができるよう編集されている。	問題発見・問題解決の流れを示し、意識して取り組ませることで、見出した問題の解決の仕方が他の問題の解決に役立つような数学的に考える資質・能力の育成ができるよう編集されている。	見方・考え方が働く具体的な問題場面の吹き出しや典型的な学習場面に汎用的な「蜘蛛巣マーク」をつけることで、未知の問題に対しても自ら働かせ数学的に考える資質・能力の育成ができるよう工夫して編集されている。					
(2) 内容の程度	○ 細かな単位で理解を確認する「クイックチェック」にデジタルコンテンツの「ヒントと解答」があり、必ず身に付けた問題を取り上げ、生徒自身がつまずきを早期発見できるよう工夫されており優れている。また、各単元教育課程や他教科との関連が強い内容を取り上げ、今日的課題への取り組みができるよう工夫されている。	「活動」、「例」、「問題」を適切に配置し、見い出すことや学ぶことを明確にするよう工夫されている。また、「活用・探究」、「社会にリンク」、「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや仕事の中で活用されていることが実感できるよう工夫されている。	「例」に、ノート形式で極端的な解答の書き方やノートを書く際に気を付ける点について示したり、「問」の中に誤答問題の「正しいかな？」を設定して誤りを正し箇所明確にしたりと工夫されている。また、「章のまとめ問題」に「活用」を設定し、職業や環境などに日常生活に関する課題を活かせるよう工夫されている。	各章の入口には「学習する前に」、出口には「学習のまとめ」を設け、基礎・基本を確認して既習内容と新たに学んだことをつなげるように工夫されている。また、「章とびら」や「数学仕事人」では、数学を学ぶことの必要性や数学が実社会で役立っていくことを感じられるよう、工夫されている。					
	○ 生徒の思考の流れを大切にし、疑問が次の学びへとつながる系統性、連続性のある単元構成にし、「問」、「基本の問題」、「問題A」の「チェックボックス」で自己調整しながら学びを進められるよう工夫されている。また、「補充の問題」や「活用の問題」など豊富な問題で繰り返し学習することや自ら考え表現する力を高めることができるよう工夫されている。	新しく学んだ事項を「たしかめ」と「Q」で直前に学んだことの理解を確かめ、同じ考え方をを使って解くことができる問題を配置し、分かりやすい構成にして生徒が学びやすくなるよう工夫されている。また、「プラス・ワン」や「たしかめよう」など豊富な問題で練習したり、発展的な学習で次の学年や高等学校で学習する内容につなげたりするよう工夫がされている。	○ 章・節の「とびら」で課題を見付け、「Q」で数学の問題に置き換え、解決に向けた生徒同士対話につなげる問題に取り組むことで見方・考え方をまとめているよう工夫され、優れている。また、「計算力を高めよう」や「確かめよう」で常に振り返るようになり、「数学へのいざない」や「深めよう」などで上位学年の内容にも触れたりして工夫されている。	○ 学校で学習する内容との関連の紹介をして、数学の学習のひろがりを実感できるよう工夫したりして、優れている。					
4	タブレット端末の活用	○ 補充問題としてのフラッシュカードが充実しており、基礎・基本を定着させるのに効果的である。また、「証明メーカー」を使ってタブレット上で証明の流れや根拠について整理することができるよう工夫がされている。	教科書にはデジタルコンテンツの記載が少ないが、WEBプラスには、例や例題の解説動画が多く掲載されているため、何度も見返すことができる。また、数は多くないが、日常生活にリンクしたWEBテストで学んだことを深めることができるよう工夫されている。	○ 補充問題として、フラッシュカード形式の問題が用意されたり、確かめようや計算力を高めようの解答や解説が掲載されたりしているが、操作シミュレーションができるコンテンツが少なく、学習の効果を高めるための工夫としては、十分ではない。	主なびリンクとして、操作シミュレーション、統計ツール、動画、資料などを活用することができるが、部分的にしかコンテンツがないため、タブレット端末を活用できる場面が少なく、学習の効果を高めるための工夫としては、十分ではない。				
5	表記・表現及び使用上の便宜等	○ 多様な考えを生むために奇数ページから章の導入にしたり、巻末の資料のページの紙質を変えたりしている。また、生徒の単元への興味・関心を高めたり、学習場面を分かりやすくしたりするための挿絵・イラスト・写真・図表等が工夫されている。	巻末の資料のページを広げること、領域ごとの内容すべてについてページをめくることがなく確認できるようにしている。また、見開きのページの課題と関連した写真、数学的に捉えられるようモデル化したイラストが掲載されるなど工夫されている。	○ 教科書紙面に直接作図や書き込みがしやすいようにレイアウトして、生徒が利用しやすい。また、数学的な概念をイメージ化するのに適した図や写真を数多く取り入れることで、学習内容の理解を深める手助けとなるよう工夫されている。	○ 章末の学習内容の定着を図る問題では、「章のまとめ」や「章の問題」のページ自体の色を分けることにより活用しやすくなっている。また、章の導入や具体場面の提示において、写真や挿絵、表等が豊富に配置され、視覚的に捉えられるよう工夫されている。				
6	印刷・造本等	○ 小さい文字にはUDフォントを採用して視認性を高め、文節改行を取り入れたたり、例や問いに算線を入れてまとまりを示したり、デジタルコンテンツを定位位置に配置している。また、製本は開きやすく、紙面を大きく見せ、書き込みをしやすくされていたり、堅牢な性、耐久性に優れた加工がされている。	○ 1年生と2、3年生で文字の大きさを変え、重要な部分を強調したレイアウトを工夫したり、UDフォントをふまえた色使いを工夫したりして、誰にも分かりやすい紙面になっている。また、紙面に配慮した紙と植物油インキを使用したり、表面にフィルムを貼ったりするなど、環境や堅牢性に配慮しているが、重量に手立てが不足している。	○ 目に優しい判別しやすい色使いをしたり、理解しやすい文字になるようUDフォントを使用したりすることや文章を文節改行にすることで誰かが読みやすくなるようにしている。また、紙質を保ちながら軽量化を図ると共に、自然な色合いで光の反射や裏移りの少ない用紙を使用したり、用紙やインキは環境に配慮したものを採用したりしている。	○ 紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいUDフォントを使用したり、レイアウトや文章の改行維持などを工夫したりして、支障なく生徒が集中して学べるようにしている。また、紙質やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用したり、紙の強度を維持しつつ、軽量化紙を使用することで生徒への身体的な負担に配慮しているが、表紙の抗菌加工のせいから、重量に手立てが不足している。				

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

発行者		啓林館		数研出版		日本文教		
観点	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	
学習指導要領との関連	基礎・基本である多種多様な「例」、「例題」と直接適用の「問」を段階的に配置し、反復練習で技能を身に付けることができるように工夫して編集されている。	学習内容の要点を例示したり「Linkイメージ」で動画にしたりして、生徒が理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	
	「説明しよう」や「話しあおう」では、多様な考えをもち、筋道を立てて説明する場面を設定し、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	「学んだことを活用しよう」では、単元を通して身に付けた知識・技能を活用して解決できる問題を設定し、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。	数学を活用する学習を多彩に取り上げ、「説明できるかな？」や「活用の問題」では、思考力・判断力・表現力が身に付くよう編集されている。
	利用場面において、「ステップ方式」で段階的に問題発見・解決をし、解決の過程を振り返ることで、数学的活動の楽しさやよさを実感し、自身の学びを評価・改善できるよう工夫して編集されている。	数学的な見方・考え方が身に付けられるように、活動の様子をキャラクターの対話で視覚的に示し、多様な考えを出し合うことや学んだことを活用する数学的活動の楽しさやよさが実感できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	巻頭の「ノートのくふう」には振り返りやすくする具体例を示し、「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。
「コンパスばらん(第4期名古屋市教育局振興基本計画)」との関連	デジタルコンテンツの補充問題が各種そろっており、解き終えた生徒への対応がしやすくなっている。また、「ふりかえり」として、既習の内容が記載されていたり、算数でつまずきやすい内容について、例題とともに丁寧に解説されていたりするなど、学び直しに対して配慮されている。	二次元コードとともに扱う問題の難易度が示してあるので、自分の理解度に合わせて選択できるようになっている。また、巻末の「自己評価のチェック」で、自分自身の学びに向かう力について、細かく確認することができるように配慮されている。	各設問に合わせて、既習の内容を確認できる「確かめ」と、解き終えた生徒に向けた「チャレンジ」問題が適度に配置されている。また、その解答が次ページに記載されているなど、個々に扱いやすくなるように配慮がなされている。	各設問に合わせて、既習の内容を確認できる「確かめ」と、解き終えた生徒に向けた「チャレンジ」問題が適度に配置されている。また、その解答が次ページに記載されているなど、個々に扱いやすくなるように配慮がなされている。	各設問に合わせて、既習の内容を確認できる「確かめ」と、解き終えた生徒に向けた「チャレンジ」問題が適度に配置されている。また、その解答が次ページに記載されているなど、個々に扱いやすくなるように配慮がなされている。	各設問に合わせて、既習の内容を確認できる「確かめ」と、解き終えた生徒に向けた「チャレンジ」問題が適度に配置されている。また、その解答が次ページに記載されているなど、個々に扱いやすくなるように配慮がなされている。	各設問に合わせて、既習の内容を確認できる「確かめ」と、解き終えた生徒に向けた「チャレンジ」問題が適度に配置されている。また、その解答が次ページに記載されているなど、個々に扱いやすくなるように配慮がなされている。	
	「説明しよう」「話しあおう」の設問が随所に配置されており、対話の中で学びを進められるように工夫されている。また、登場キャラクターが話し合う場面が効果的に配置されている。	登場キャラクターのグループでの対話の様子や、ペアの掛け合いの様子など、様々な話し合いが豊富に描かれており、そのままの流れで自然と対話的な学びへと入りやすくなるような工夫がされている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。
	日常の事象についてどのように考えていけばよいのか、三つのステップに階層にまとめている。また、随所に「数学ライブラリー」として、学習内容に関するコラムが、デジタルコンテンツとともに紹介されている。	章末の「学んだことを活用しよう」だけでなく、巻末の「数学旅行」と「チャレンジ編」に活用の場面をまとめて紹介したり、随所に発展的な内容を記載したりするなど、自分の興味・関心に合わせて選択して取り組めるようになっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。	「数学マイトライ」として、生徒の興味・関心に合わせて取り組める内容が巻末にまとめて紹介されていたり、「数学のたんけん」として所々紹介されたりしている。しかし、生徒に適時に触れられる部分としては内容が少なくなっている。
(1) 内容の選択	イラストでは、外国にルーツをもつ生徒も複数登場させたり、題材として点字や車いすをとりあげたことで、多様性を認めていけるような工夫がされている。	イラストでは、男女が一緒に、協力しながら話し合う様子を表現しており、性別によって差別されない視点において人権尊重を表現できよう工夫されている。	各小節の横に、その場面で必要な「大切な見方・考え方」を、上段に汎用的、下段に具体的と分けて示し、数学的に考える「資質・能力」の育成ができるよう編集されている。	各小節の横に、その場面で必要な「大切な見方・考え方」を、上段に汎用的、下段に具体的と分けて示し、数学的に考える「資質・能力」の育成ができるよう編集されている。	各小節の横に、その場面で必要な「大切な見方・考え方」を、上段に汎用的、下段に具体的と分けて示し、数学的に考える「資質・能力」の育成ができるよう編集されている。	各小節の横に、その場面で必要な「大切な見方・考え方」を、上段に汎用的、下段に具体的と分けて示し、数学的に考える「資質・能力」の育成ができるよう編集されている。	各小節の横に、その場面で必要な「大切な見方・考え方」を、上段に汎用的、下段に具体的と分けて示し、数学的に考える「資質・能力」の育成ができるよう編集されている。	
	「解き方を探るときや数学をさらに広げて深めたり考えるときに」「いっせえな考え方」を下線と標準で記載し、自分の考えを整理し、分りやすく表現する場面の「まようめ」を配置して、数学的に考える資質・能力の育成ができるよう工夫して編集されている。	項目冒頭の「Q」や「TRY」で数学的活動を通して新しい内容や考え方ができるようにし、キャラクターの対話で数学的な見方・考え方を備へさせる具体的な姿を示して、数学的に考える資質・能力の育成ができるよう工夫して編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。	「学び合おう」や「ふり返りシート」には、学習場面における振り返りの観点を明示して、自己の変容を自覚し、評価・改善できるよう編集されている。
	学習したことを適用する「例」や「例題」を多く示し、その直後にそれによって解くことができる「問」も十分に配置し、さらにそれと同じ種類の「補充問題」をデジタルコンテンツとして用意する工夫がされている。また、「学習のつば」では、数学を学習する意義を実感できる題材を多く取り上げ、優れている。	問題解決型の展開を軸としており、既習内容との関連を見出ししながら新たな知識、技能を習得したり、学んだ内容を統合的に捉えたりできるように工夫されている。また、他教科や社会とのつながりを想起させる話題を通じて、数学の有用性を感じられるよう工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。	小節ごとに「めあて」を示したり、導入の「Q」や横欄の「確かめ」で既習の内容を確認できるように工夫されている。また、「身近なことから」から数学的に表現した問題に関する過程を明示したり、発達段階に応じた穴埋め形式で説明の仕方を学べるようにしたりする工夫がされており、優れている。
(2) 内容の程度	「学習のとびら」の活動から多種多様な「例」「例題」と直接適用の「問」を十分に配置し、すべての単元で利用場面を充実させ、章を通した配列が工夫され、優れている。また、「問」と同じ種類の「問題」や「問題」の「補充問題」を用意したり、高等学校との関連の内容を「発展」課題として取り上げたりしており、優れている。	章の学習の前に既習内容を確認できるようにし、「例」や「問」を細かく配置して、「練習問題」で基礎的な問題を繰り返し練習できるように工夫されている。また、「Link補充」や巻末に補充問題が豊富にあったり、高等学校の内容や「探究」のデジタルコンテンツで発達段階への配慮や高等学校への接続が工夫されたりしている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	
	「学習のとびら」の活動から多種多様な「例」「例題」と直接適用の「問」を十分に配置し、すべての単元で利用場面を充実させ、章を通した配列が工夫され、優れている。また、「問」と同じ種類の「問題」や「問題」の「補充問題」を用意したり、高等学校との関連の内容を「発展」課題として取り上げたりしており、優れている。	章の学習の前に既習内容を確認できるようにし、「例」や「問」を細かく配置して、「練習問題」で基礎的な問題を繰り返し練習できるように工夫されている。また、「Link補充」や巻末に補充問題が豊富にあったり、高等学校の内容や「探究」のデジタルコンテンツで発達段階への配慮や高等学校への接続が工夫されたりしている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。
	「学習のとびら」の活動から多種多様な「例」「例題」と直接適用の「問」を十分に配置し、すべての単元で利用場面を充実させ、章を通した配列が工夫され、優れている。また、「問」と同じ種類の「問題」や「問題」の「補充問題」を用意したり、高等学校との関連の内容を「発展」課題として取り上げたりしており、優れている。	章の学習の前に既習内容を確認できるようにし、「例」や「問」を細かく配置して、「練習問題」で基礎的な問題を繰り返し練習できるように工夫されている。また、「Link補充」や巻末に補充問題が豊富にあったり、高等学校の内容や「探究」のデジタルコンテンツで発達段階への配慮や高等学校への接続が工夫されたりしている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。	章の学習の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、スムーズに新しい章の学習に入り、「例」「問」を小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるよう工夫されている。また、横欄の「チャレンジ」で補充問題に取り組みたり、「総合問題」や「ステップアップ」など、発展的な学習に挑戦できるように工夫されている。
(3) 内容の構成	例、例題の解説動画(スマートレクチャー)、学びを身につけようの解説動画が豊富であり、一人一人の学びのペースに合わせて活用することができる。また、ふりがなCBTや操作シミュレーションのできるツールもあるため、大変優れている。	Linkイメージは、視覚的に理解するのに分かりやすい。Link補充では、ペンの書き込みが可能で取り組む、入試問題にチャレンジは発展的な内容の問題にも取り組みやすいことができるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。	練習問題(補充問題)をフラッシュカードで取り組むことができる。「見る」「ためす」といったアニメーションやシミュレーションを複数配置することで、視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。
	全単元が「学習のとびら」から「利用」の流れで統一されており、「利用」の場面では、問題提起から解決までを段階的に導けるようにしている。また、生徒の興味・関心を高め、学習内容が具体的にイメージしやすいように、写真や挿絵、表等が適切に工夫されている。	各単元の展開において、導入課題で学ぶ意欲を高めたり、単元末では既習内容を活用したりできるようにしている。また、単元の導入で視覚的に理解しやすくなるように、興味を引く図や写真等を効果的に取り上げ、問題解決の必要性を感じられるよう工夫されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。
	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。
表記・表現及び使用上の便宜等	全単元が「学習のとびら」から「利用」の流れで統一されており、「利用」の場面では、問題提起から解決までを段階的に導けるようにしている。また、生徒の興味・関心を高め、学習内容が具体的にイメージしやすいように、写真や挿絵、表等が適切に工夫されている。	各単元の展開において、導入課題で学ぶ意欲を高めたり、単元末では既習内容を活用したりできるようにしている。また、単元の導入で視覚的に理解しやすくなるように、興味を引く図や写真等を効果的に取り上げ、問題解決の必要性を感じられるよう工夫されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	「次の章を学ぶ前に」や「確かめ」を適宜設け、生徒が基礎的な内容を理解し、技能を身に付けることができるよう編集されている。	
	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。
	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。
印刷・造本等	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	
	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。
	個人差を問わず、必要な情報が生活に伝わるデザインに配慮し、UDフォントの採用と色覚の特性により学びやすい配色をしている。また、製本に開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいように配慮したあじろ綴じ製本を採用し、用紙は軽くて印刷が鮮明な再生紙で、印刷は植物油インキを使用し環境やアレルギーにも配慮している。	補助的な図を用いて認識の特性の違いに配慮したり、巻末付録にシンジの人を入れて理解しやすくしたり、全体にわたってUDフォントを大きめの文字サイズで使用し、文章は文節で改行して読みやすくしたりしている。また、軽い用紙に植物油インキを用いて印刷し、製本は堅ろう性を配慮している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。	区別しやすい色を使用すると共に、色だけで情報を伝えたり、全面的に、棒グラフや円グラフに斜線を入れるなどの配慮を施し、左側にUDフォントを使用したり、振り仮名に大きく見えるUDゴシック体を使用したりしている。また、切り離せるページは一般的なノートより一回り小さいサイズにしたり、軽量化した再生紙と植物油インキを使用したりすると共に、あじろ綴じ製本で開きやすく、表紙の耐久性や堅ろう性に配慮した加工を施している。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」（種目名 数学）

事項	発行者		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		啓林館		数研出版		日本文教	
	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴	特徴
数学的活動を通して学習が展開されるよう配慮されているか		「Q」では、問題解決的な学習を通して、既習の知識から新しい知識を主体的に見出し、論理的な思考力を伸ばして、様々な場面で活用できる技能に高められるよう配慮されている。		章の導入での活動で見いだした問題を次ページ以降の学習につなげたり、「考えよう」「判断しよう」「伝えよう」といった様々な問いを設けたり、思考力・判断力・表現力を高めるよう配慮されている。	○	「数学的活動」では、学習過程のイメージを具体化し、課題に対する問題発見から解決までの過程を明確に示したり、自分たちで見付けた課題から目標を発見し、まとめ、さらにその先へつながっていくよう配慮されており、優れている。		問題を見出す、問題をつかむ、見通しを立てる、問題を解決する、ふり返る、深める、といった「学びのプロセス」を示し、問題発見・解決の過程を意識し、自分の考えをもつだけでなく、他の人の意見を理解して取り組めるよう配慮されている。		単元の最後の「利用」において、数学的に表現した問題から焦点化した問題、そして結果へつながる問題発見・解決の過程に従って、現実の世界と数学の世界の両方で取り組まれていることを重視して取り組めるよう配慮されており、工夫されている。	○	「Q」や「TRY」では、予想・考察するところから学習を始め、新たな学習内容の必要性を考えたり、身の周りにある事象から数学を見出したりすることや成り立つ関係や性質を調べたり考えたりする場面では「Link考察」などいろいろな角度から考えることができるよう配慮されており、工夫されている。	○	「学びに向かう力を育てよう！」では、数学のよさについて考える活動や数学を生活や学習に生かす活動、解決の過程をふり返って評価・改善する活動、多様な考えを認め、よりよく解決する活動を位置づけ、主体的に取り組めるよう配慮されている。		
数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動ができるよう工夫されているか		各単元の導入や利用のページで、自他の表現の共通点や相違点を話し合うことで、そのよさを確認したり、表現から読み取れることを説明したりするなど、数学的な表現を基にした話し合いの場面が工夫されている。		複数の解き方を比較して、それぞれの考えを説明し合う設問や、数学的な表現からその工夫を読み取る設問がある。しかし、数学的な表現を自ら用いて、説明し合う場面は少ない。		「説明する力を身に付けよう」では、登場キャラクターの対話の中で、根拠を明確に示す必要があることや、考えを比較しながら発表する場面が示されており、数学的な表現をもとに説明することの大切さに触れることができるように配慮されている。		「みんなに説明しよう」の設問で、「文字を使って説明しなさい」のように、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにして説明するよう促す配慮がなされている。		「説明しよう」や「話しあおう」で、誤答を修正したり、根拠を明らかにして説明したりする中で用いた数学的な表現について、「まとめよう」で簡潔に整理するなど、数学的な表現を読み取ったり、使ったりすることに対しての配慮されている。	○	数学的な表現について考える場面が、対話とともに多く取り上げられている。しかし、登場キャラクターが対話の中で着眼点をいくつか例示していることが多く、その分生徒が自ら見付けて考えられるものは少なくなっている。	○	各単元で「話し合おう」や「説明できるかな？」など、説明し伝え合う場面が随所にあり、数学的な表現を積極的に用いることができる機会を豊富に設けている。		
必要な場面においてコンピュータ、情報通信ネットワークを適切に活用することが図られているか		単元の導入動画のアニメーションはとても分かりやすい。また、10円硬貨やスクラッチカードの実験をコンピュータで効果的に行うことができる。データの活用においては、適切な箇所にシミュレーションできるコンテンツがあり、工夫されている。		統計ツールとして、スグラバを採用しており、岐阜の気温、読書時間、バレーボール選手の身長などをコンピュータで考察できるよう工夫されている。確率においては、コンピュータ、情報通信ネットワークの活用が図られるような工夫が不十分である。		統計ツールとして、スグラバを採用しており、降水量、反復横とび、バスケットボールの得点などをコンピュータで考察できるよう工夫されている。気象庁の外部リンクや最高気温に関わるデータもあるので、生徒自らが活用しやすくなるよう工夫されている。		さいころやスクラッチに関わる実験をコンピュータで行うことができるが、それ以外の部分において、コンピュータ、情報通信ネットワークの活用が図られるような工夫としては、十分ではない。		さいころやくじに関わる実験をコンピュータで効果的に行うことができる。データの活用では、独自の統計ツールである「statKeirin」を用いて考察できるようになっており、考察の対象となるデータも豊富であるため、よく工夫されている。	○	さいころや硬貨の実験もコンピュータで効果的に行うことができる。統計ツールを活用し、様々な表現方法でデータの考察を行うことができる。考察の対象となるデータを増やすなどして、生徒自らが活用できるような工夫があるとよい。		外部リンク集が充実しており、考察の対象となるデータも豊富である。また、統計ツールとして、スグラバを採用しており、生徒自らが活用しやすいよう、工夫されている。確率に関わる部分では、さいころ以外の場合についても考察できるような工夫があるとよい。		

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。